

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2018-131425 (P2018-131425A)

【公開日】平成 30 年 8 月 23 日 (2018.8.23)

【年通号数】公開・登録公報 2018-032

【出願番号】特願 2017-28031 (P2017-28031)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/60 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 Q 1/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/60

A 6 1 K 8/37

A 6 1 Q 1/14

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 10 日 (2020.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

そして、前記ポリオキシエチレン（カプリル／カプリン酸）グリセリルは、強い洗浄力はあるが、眼を刺激するという課題があり（特許文献 1）、また、前記ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリル 2 重量％前後の配合量をベースとして、これにポリオキシエチレン（カプリル／カプリン酸）グリセリル 2 重量％前後を配合した処方が用いられており、更に、前記特許文献 5 記載の洗浄化粧料においては、ポリオキシエチレン多価アルコール脂肪酸エステル、ポリオキシエチレン多価アルコール脂肪酸エステル、アルキルグルコシドを配合する洗浄剤が提案されているが、前記特許文献 5 の実施例の記載から判断すると、前記非イオン界面活性剤の総量は 5 重量％以上であると共に、グリコール類が 4 0 重量％以上配合され、且つ水の配合量が 2 5 重量％以下なので、例えば、水が 7 0 重量％以上配合されているようなクレンジングローションとは製剤の形態が異なっているのである。